

# 首都圏における広域降灰対策具体化協議会 開催趣旨

令和 8 年 3 月 25 日

首都圏における広域降灰対策具体化協議会（第 1 回）

# 首都圏における広域降灰対策具体化協議会の開催について

## ○趣旨

富士山で大規模噴火が発生した場合、首都圏を含む地域が広く降灰に見舞われ、国民生活や社会経済活動に大きな影響を及ぼすことが懸念される。

このため、内閣府では、広域降灰対策の基本方針や対策の検討に当たっての考え方や留意点について、令和7年3月に「首都圏における広域降灰対策ガイドライン」を取りまとめた。また、東京都では、令和7年5月に富士山噴火による降灰対策も含めた、地域防災計画火山編を修正した。

今般、内閣府・東京都が共同で、「首都圏における広域降灰対策具体化協議会」を開催し、東京都をモデルケースとして、富士山噴火時の降灰分布や影響に関するシミュレーションに基づき、災害リスク評価として、関係機関が連携して広域降灰対策の具体化を推進するための協議を行う。

## ○構成員

座長： 内閣府（防災担当）、東京都  
構成員： 関係省庁の地方支分部局  
東京都関係部局  
埼玉県、千葉県、神奈川県  
東京都千代田区、町田市  
ライフライン・インフラ関係機関 等

## ○スケジュール

- 令和8年3月25日 第1回協議会  
(これまでの検討経緯、今後の協議の進め方等)
- 以降、各WG等を開催して協議

## ○主な協議内容

「首都圏における広域降灰対策ガイドライン」の内容を踏まえ、

- 広域にまたがる降灰対策の具体化・推進
- 東京都をモデルとした、地域の実情に応じた具体的な降灰対策

について協議し、首都圏における広域降灰対策ガイドラインの改定や東京都地域防災計画（火山編）の修正等の各種計画の改定等につなげるほか、他地域での対策の検討にも資する。

# 広域降灰対策の検討経緯

## 基本的な考え方

### 大規模噴火時の広域降灰対策について -首都圏における降灰の影響と対策- ～富士山噴火をモデルケースに～（報告）（令和2年4月）

（中央防災会議 防災対策実行会議 大規模噴火時の広域降灰対策検討ワーキンググループ（広域降灰WG））

- ・大規模噴火時の降灰対策の検討を行う際の前提となる、降灰分布とそれによる交通機関やライフライン等への影響等
- ・住民等の行動の基本的な考え方（降灰により家屋倒壊の可能性がある範囲、そのほかの降灰地域）
- ・応急対策を中心とした検討に当たっての留意事項（平常時、火山活動活発時、大規模噴火発生後）

## 対策の検討

国

### 首都圏における広域降灰対策ガイドライン（令和7年3月） （首都圏における広域降灰対策検討会）

- ・降灰の状況等に応じた広域降灰対策の基本方針
- ・関係機関が連携し、具体的な対策の検討を進めるに当たっての考え方や留意すべき事項

都

### 大規模噴火降灰対応指針（令和5年12月）

都の特性を踏まえ、都市活動を維持する対策を講じるとともに、平時からの備えを強化するため、今後の都の対策の方向性をとりまとめ

### 東京都地域防災計画 火山編（令和7年5月）

「大規模噴火降灰対応指針」を踏まえ、降灰対策における各主体の役割分担や予防・応急復旧策を計画に位置付け

広域降灰WG報告に基づき、  
富士山噴火を想定した広域降灰対策について検討

広域にまたがる対策の基本となるべき事項や、地域の実情に応じた具体的な対策を関係機関で連携して検討

## 具体的な地域における検討

### 「首都圏における広域降灰対策具体化協議会」

上記の検討を踏まえて、内閣府・東京都が共同で、富士山噴火時の東京都をモデルケースとした災害リスク評価として、関係機関が連携して、首都圏における広域降灰対策の具体化を推進するための協議を行う。

- ・広域にまたがる降灰対策の具体化・推進
- ・東京都をモデルとした、地域の実情に応じた具体的な降灰対策 等